



アフガニスタンの子ども達へ ランドセルを寄贈する活動から学ぶ

「探究学習」で 世界の課題を考えよう！

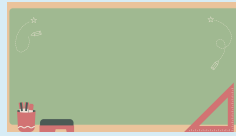
中高生向け

授業で使える
ワークシート付き



年

組 名前



一人一人の小さな行動が大きな力に



Small actions add up to create a great power



2026年3月現在、中東情勢の緊迫化に伴い、
ジョイセフはランドセルの受け入れを停止しています。
詳細はジョイセフのHPをご覧ください。

獨協大学経済学部 高安 さま



私たちの活動や本冊子について
詳細はこちら

はじめに

みなさん、こんにちは！
私たちは、獨協大学・高安健一ゼミで活動している「ランドセラチーム」です！

私たちは「開発経済学」という学問を学び、世界が抱えるいろいろな問題について、学生主体で解決策を考える活動をしています。
その活動の一つが、アフガニスタンの子どもたちへの教育支援です。

「学校に行きたくても行けない子がいるのはなぜだろう？」
「私たちにできることは、ただ寄付をするだけなのかな？」

そんなギモンからスタートして、私たちは現地の子どもたちが直面している厳しい現実を学んできました。そして、たどり着いた答えの一つが、「日本で役目を終えたランドセルを、アフガニスタンの子どもたちに届ける国際協力」でした。

「探究学習」とは、このように自分たちで「問い」を立て、その答えを求めて調べたり考えたりしながら、新しい発見を重ねていく学びのことです。
私たちは今、この探究学習の発展型として、プロジェクト型課題解決学習(PBL)に取り組んでおり、獨協大学のある草加市を中心にランドセルを集めて現地へ届けると同時に、アフガニスタンの子どもたちが直面している教育課題を、より多くの市民に知っていただく活動も行っています。

この冊子では、私たちの「ランドセルを届ける活動」を例にしながら、「探究学習の進め方」を分かりやすく説明していきます。
この冊子を読み終えたとき、世界で起きている問題が今より少し身近に感じられるはずです。「自分たちにできることは何だろう？」と考え、そして一歩でも踏み出して「行動」に移す人が増えてくれたら、これほど嬉しいことはありません。

獨協大学 経済学部
高安健一ゼミナール
ランドセラチーム

目次

本冊子の学習分野：国際理解教育
学問分野：開発経済学

1 探究学習を始める前に 3ページ



2 探究学習の進め方 9ページ



3 探求学習をやってみよう！ 中学生用ワークシート 32ページ



4 おわりに 45ページ



2026年3月現在、中東情勢の緊迫化に伴い、
国際協力NGOジョイセフは
ランドセルの受け入れを停止しています。

詳細はジョイセフのHPをご覧ください。

国際理解ってなんだろう？



「国際理解」とは、ただ「外国語を学ぶこと」ではありません。他の国の文化や歴史、価値観を正しく知り、世界の一員として広い視野や考え方を身につけることです。

違いを知る つながりを考える 共につくる

その一つひとつの行動が、世界と向き合う力につながっていきます。

「国際理解」を学ぶことで、世界を自分事（じぶんごと）としてとらえ、みんなが幸せに暮らせる未来をつくるための一歩を踏み出すことができます。

開発経済学ってなんだろう？

「開発経済学」とは、「どうすれば貧しい国や地域が豊かになって、人々の生活が良くなるか」を研究する学問です。研究といっても、ただ「経済が成長する方法」だけを考えるのではありません。開発途上国が抱える

貧困や飢餓



仕事や教育



保健医療



ジェンダー



などの問題を「なぜ起きているのか？」とデータや現地の声をもとに分析します。

「開発経済学」を学ぶことで、世界が抱える難しい問題に対して、客観的なデータや現地の声をもとに、「一番効果的な解決策」を見つけ出すことができます。

私たちが学ぶ理由



私たちが国際理解や開発経済学を学んでいるのは、世界で起きているさまざまなことを知り、多くの価値観に触れることで、「問題意識を持って行動できる人」になりたいと考えているからです。

他国の文化や違いを学ぶことは、日本で暮らす私たちの生活を「当たり前」と思わずに見つめ直すきっかけにもなります。

「世界を知ること、自分たちの生き方を考え、実際に行動に移すこと」。これこそが、私たちが学び続ける一番の理由です。

私たちが取り組む

PBL（プロジェクト型課題解決学習）とは？

みなさんは、「PBL」という言葉を聞いたことがありますか？ これは、**自分たちで問題を見つけ、その解決に挑む学び方**のことです。

私たちは、世界のことを知る「国際理解教育」や、世界をより良くするための「開発経済学」をより実践的に学ぶために、チームで協力しながら、PBLに取り組んでいます。



ふだんの授業では「答え」を教わることが多いかもしれませんが、**PBLは「探究学習」をさらに発展させた実践型の学び**です。教室を飛び出して、チームで意見を出し合い、それぞれの視点を生かしながら、実社会の中で行動していくのが大きな特徴です。

開発途上国の アフガニスタンってどんな国？

国の特徴



アフガニスタンはアジアの内陸に位置する、山の多い国です。国土の約4分の3を山地が占めており、乾燥した気候のもと、木の少ない山々や広大な砂漠が広がっています。



宗教

多くの人々がイスラム教を信じており、その教えの中では、女性は肌や体の形をできるだけ外から見えないようにすることが大切だと考えられています。そのため外に出るときには、「ブルカ」とよばれる、頭から足まである衣服を着る人もいます。



政治

アフガニスタンでは、40年以上にわたって戦争や内戦が続き、政治が不安定な状態が続いてきました。

タリバン政権とは？

タリバン政権(2021.8~)とは、そのような混乱の中でタリバンが再び成立させ、現在アフガニスタンを支配している政権です。しかし、国際社会の多くの国からは正式な政府として認められていません。タリバンはイスラム教の教えを厳しく守るべきだと考えており、現在はその考えに基づく統治が広がっています。特に女性や女の子の教育や行動には多くの制限があります。

教育

タリバン政権による女子教育の制限により、女の子たちは小学校の6年間しか学校に通うことができません。さらに、その中でも卒業まで通える子どもは多くありません。

家の手伝い
早婚

小学校を卒業できる割合
女子は40%、男子は67%

(出所) ユニセフ『世界子供白書2023』



他にも文化的な問題があり、女の子の教育に対する家族や地域の理解が得られにくくなっています。



教育と健康の深いつながり



アフガニスタンには、教育を受ける機会がないまま大人になる子どもたちがいます。体がまだ十分に成長する前に妊娠や出産をすると、お母さんや赤ちゃんの命や健康に大きな危険が生まれます。

また、読み書きができない女性は、病院でもらう説明書などの大切な情報を正しく理解することができません。その結果、子どもの予防接種や栄養に関する知識を得ることが難しくなってしまいます。

さらに、女性の外出が制限されている社会では、体調が悪くても自由に病院へ行けないという問題も抱えています。

教育を受け、読み書きができるようになることは、自分や家族の健康を守るための知識を身につけ、自立して生きるための大きな力となるのです。



【世界で支援活動を行うパートナー】

こくさいきょうりょく

国際協力NGOジョイセフ (JOICFP) とは？



SCAN

ジョイセフの公式HPはこちら

女性・選択できる世界を、ジョイセフ

JOICFP

国際協力NGOジョイセフ (JOICFP) は、世界の女性の命と健康を守るために活動している日本生まれの国際協力NGOです。

「思い出のランドセルギフト」事業とは？



2004年から約30万個のランドセルを
現地の子どもたちへ届けています！



©ジョイセフ

思い出のランドセルギフトとは、日本で役目を終えたランドセルをアフガニスタンに寄贈し、子どもたち、特に教育の機会に恵まれない女の子の就学に役立つ国際支援活動です。

ランドセルを贈ることで、子どもたちが学校で学ぶ機会が得られ、読み書きができるようになり、自分自身や家族を守る知識や情報を身につけられるようになることを目指しています。

Q

A なぜランドセルを贈るの？

丈夫で机代わりになるから



©ジョイセフ

アフガニスタンでは、ランドセルはただのかばんではありません。ランドセルは丈夫に作られているため、机がない場所では「簡易な机」として使われることもあります。アフガニスタンのナンガハール州では、紛争の影響により、屋外で授業を行う「青空教室」で学ぶ子どもたちも少なくありません。そうした環境では、ランドセルが子どもたちの学びを支える大切な道具になります。

ランドセルを背負って安全に登校できるから

ランドセルを使うことで両手が自由になり、険しい道でも安全に登校できます。またランドセルを背負っているだけで「学校に通っている子どもだ」と一目でわかります。それは子どもたち自身の誇りになり、「もっと勉強したい」という気持ちにつながります。ランドセルがきっかけとなり、教育に前向きでなかった家庭でも子どもを学校へ通わせようという意識の変化も生まれています。



©ジョイセフ



ジョイセフとともに歩む 大学生の私たちができること

私たちは大学で「開発経済学」を学び、世界には学校に行きたくても行けない子どもたちがたくさんいることを知りました。

「学んだ知識を、誰かのために役立てることはできないだろうか？」そう考えていたときに会ったのが、国際協力NGOジョイセフが進める「思い出のランドセルギフト」でした。

アフガニスタンの状況を正しく理解し、 ランドセルの重要性を日本の皆さんに伝えて、支援の輪を広げること

これこそが、専門的に学ぶ大学生である私たちにできることだと思い、ジョイセフに賛同して、活動をスタートさせました。

ランドセル回収までの流れ

- 2024年12月 「ランドセラチーム」が結成される
- 2025年3月～5月 アフガニスタンの情報収集やランドセル回収の仕組みの調査を行う
- 2025年6月～8月 埼玉県草加市内で「思い出のランドセルギフト」の認知活動を行う
- 2025年9月～10月 ランドセル回収の告知をする
- 2025年11月8,9日 ランドセル回収活動で221個のランドセルが集まる

国語大学経済学部 高安 さん



ランドセラ

探求学習を進めるために 必要な4つのSTEP

「探究学習って、何から始めればいいのかしら？」
「テーマはどうやって決めるの？」
そんな疑問をもっている人も多いと思います。
この冊子では、私たちランドセラーが実際に行ってきた
探究学習のプロセスを、分かりやすく紹介していきます。

Step①

課題設定

Step②

情報収集

Step③

整理・分析

Step④

まとめ・表現

探究学習にはこの4つのステップが重要です。
みなさんも、P32にある授業ワークシートを使って
探究学習を進めていきましょう！

この冊子を読むポイント ①①



探究学習と一緒に
進めていく仲間



ワンポイントアドバイス

探究学習に必要なアドバイス



埼玉県草加市応援
ご当地キャラクター
そうかニャン

探究学習で大事なことを
教えてくれるそうかニャン

探究学習の進め方

Step① 課題設定

どうやって課題を設定するの？



課題設定は、探究のスタートライン。
問いがはっきりすると、学びがぐっと広がるよ！

どうやって課題を

1 ニュース・授業・SNSなどから「気になった問題」を見つける

日常の中から「なんで?」「変じゃない?」と思ったことを探してみよう!




どうしてアフガニスタンの女の子達は学校に通えないんだろう?

紛争と教育ってどんな関係があるんだろう?



わからないワードがあったら調べてみよう!


タリバン政権・紛争・女子教育の制限 🔍

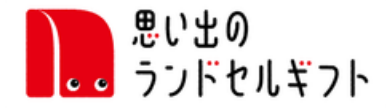
やてせやう  **問題について事実を調べよう!**
(①どこで/②誰が/③何が起きている)


①アフガニスタンで ②子どもたち、特に女の子が ③学校に通うことが難しい

設定するの?

2 その問題を解決しようとしている団体やプロジェクトを知る

 色々な情報を調べて、最後に一つに絞ってみよう!



やてせやう  (①どの団体? / ②どんな活動をしている?)

3 調べてわかった問題から「いちばん解決すべきことは何か」を書く

ここで課題を設定!

課題

1. アフガニスタンの教育状況が日本であまり知られていないこと
2. 現地でのランドセルが足りていないこと

問題と課題のちがい

「問題」は、世の中で起きている困った状況
 「課題」は、その問題の中でいちばん解決すべきこと をいうよ!



どうやって課題を

4 課題と解決する方法、 そして自分たちができることを考える

国際理解とは、知るだけで終わらず、
「自分なら何ができるか」を考えること。
だからこそ、このステップがとても大切になるよ！


課題

アフガニスタンの教育状況が日本であまり知られていない
現地でのランドセルが足りていない

解決策

- もっと多くの人に
- ①「思い出のランドセルギフト」について知ってもらうこと
 - ②ランドセルを寄贈してもらうこと

自分たちができること

 「思い出のランドセルギフト」事業の認知を広めること
ランドセルを集めること

自分で考えたことを
周りの人と共有してみよう！



設定するの？

みんなで考えてみよう



5 グループの目的と目標を定める

何かを達成するためには、目的と目標の設定が必要不可欠。
自分たちにできることを具体化していこう！

目的 = 何のためにやるの？

目標 = 目的のために何をどこまでやるの？



目標は具体的な数字を
設定しよう！

自分達ができること

「思い出のランドセルギフト」事業の認知活動 ランドセル回収活動

私たちの**目的**
(何のためにやるの?)



アフガニスタンの教育環境や
ランドセルの魅力を
多くの人に知ってもらい、
支援の輪を広げるため

私たちの**目標**
(どこまでやるの?)



- ① **2,000人**に
「思い出のランドセルギフト
プロジェクト」を知ってもらう
- ② **140個以上**のランドセルを
アフガニスタンの子どもたちに届ける

チームの目的は探究学習を進めるためにも大切になるよ
時間をかけて議論しよう！



探究学習の進め方

Step①

課題設定で学んだこと

- 1 ニュース・授業・SNSなどから「気になった問題」を見つける
- 2 その問題を解決しようとしている団体やプロジェクトを知る
- 3 調べてわかった問題から「いちばん解決すべきことは何か」を書く
- 4 課題と解決策、そして自分たちができることを考える
- 5 グループの目的と目標を定める

Check!

- 「問題」は世の中で起きている困った状況
「課題」はその問題の中で、いちばん解決すべきことをいう！
- チームの目的は探求学習を進めるうえでとても大切になるので、時間をかけて議論しよう！



探究学習の進め方

Step② 情報収集

どうやって活動に必要な情報を集めるの？



情報収集は、探究を深める大切なステップ。
いろいろな資料から情報を集めて、課題について理解を深めよう！

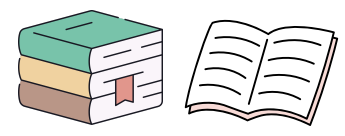
どうやって活動に

1 「本やインターネット」から集める

ここで**基礎知識**を学ぶ！

本やインターネットには、身近では知ることができない客観的な情報があるよ。
現状・原因・影響・すでに行われている対策などを調べてみよう！

教科書や図書館の資料



詳しい情報があって、信頼できる

インターネット



最新の情報をすぐに調べられる

調べた情報が、「本当に正しい情報かな？」と疑うことが大事だよ



2 「身近な人や場所」から集める

身の回りでどんな取り組みがされているか調査しよう！



学校の近隣地域で取り組みをしている人や団体



市や地域の交流やイベント

アンケートを使って多くの人の意見を集めてみよう！

Q. 「使い終わったランドセルをどうしていますか？」



- !** アンケートをする際の注意点
- ・ 質問文を簡潔に書く
 - ・ 1問1内容
 - ・ 個人が特定できる質問は避けよう

必要な情報を集めるの？

3 「専門家や当事者」から集める

相手の考えを大切にしながら話を聞こう！

ヒアリング調査を行い、関わっている人の経験や意見、現場での課題を知ろう！

ヒアリング調査とは？
くわしい人に直接話を聞いて、問題について理解を深める方法



ヒアリング調査の手順

1. だれに話を聞くか決める
2. 何を知りたいのか、目的を決める
3. 具体的な質問を考えて準備する
実際に話を聞く！
4. 聞いたこと・気づいたことをメモにまとめる

やってみよう **実際にヒアリング調査の準備をしよう！**

①話を聞く相手を決めよう

②聞く目的を設定しよう

③質問を考えよう

探究学習の進め方

Step②

情報収集で学んだこと

1 「本やインターネット」から集める

2 「身近な人や場所」から集める

3 「専門家や当事者」から集める

Check!

情報が偏らないように、
本・インターネット・新聞など、複数の資料から情報を集めよう！

アンケートやヒアリングに協力してくれた人への
感謝の気持ちを大切に、しっかり伝えよう！



探究学習の進め方

Step③ 整理・分析

どうやって集めた
情報を整理・分析するの？



整理・分析は、情報の意味を見つけるステップ。
共通点や違いに注目して考えてみよう！

どうやって集めた

1 集めた情報を「仕分け」する【整理】

情報整理の手順

- ① 集めた情報を書く
- ② 似ている情報を集め、そのグループに名前をつける

みんなで情報を整理しよう



グループ名：(**アフガニスタンの教育状況**)

- 校舎がない
- 外で勉強をする
- 教育環境が良くない
- 識字率が低い

似たもの同士でグループ分けして、
課題や疑問を見つけよう！



ランドセラーのつけた課題と疑問

- 課題 アフガニスタンでは多くの子どもが教育を受けられない
疑問 私たちにどのような支援ができるのか？

情報を整理・分析するの？

2 情報を「比較する・つなげる」【分析】

情報を「比較する」方法

- ① 比べるものを決める
- ② 比べるポイントをそろえる
- ③ 同じところ・ちがうところを見つける
- ④ なぜちがうのかを考える

比較するときは
表を作成して比較しよう！

学習環境に差があるのは
貧困や教育制度、インフラ整備の違い
が関係している？

【分析①】情報を「比較する」

教育環境\国	日本	アフガニスタン
教育機会	男女平等	女子教育に制限
学用品	ほぼ全員が所持	不足している
通学	歩道がある	険しい道で危ない

【分析②】情報を「つなげる」

① 原因と結果を考える

「〇〇（原因）だから、△△（結果）になる」

アフガニスタンに教育制限がある（原因）→

学校に通うことが難しい（結果）

② 解決策と効果を考える

「〇〇（解決策）をすると、△△（効果）が生まれる」

ランドセルを届ける（解決策）→ 就学するきっかけが生まれる（効果）

どうやって集めた

3 はじめに決めた目的・目標を達成するために、
具体的に「何が必要か」を探そう

自分達ができること

「思い出のランドセルギフト」事業の認知活動 ランドセル回収活動

私たちの目的
(何のためにやるの?)



アフガニスタンの教育環境や
ランドセルの魅力
多くの人に知ってもらい、
支援の輪を広げるため

私たちの目標
(どこまでやるの?)



- ①2,000人に「思い出のランドセルギフトプロジェクト」を知ってもらう
- ②140個以上のランドセルをアフガニスタンの子どもたちに届ける

目標①のために必要なこと

イベントなどでの認知活動

目標②のために必要なこと

ランドセルを集めるための
体制づくり

目的・目標が明確になると、
やるべきことが見えてくるよ！



情報を整理・分析するの？

4 課題に向けた取り組みを整理する

これまでに調べ、考えてきたことを整理し、
課題解決までの仕組みを作っていこう！



ランドセラーの活動を例に6つのステップを知ろう！

①背景

どんな問題や状況があるのか

アフガニスタンでは教育制限がある

②課題

背景の中から課題を見つける

アフガニスタンの教育制限が
日本ではあまり知られてない

③目的

課題解決をすることで実現したい状態

ランドセルを寄贈することで、
アフガニスタンの子どもたちの
学校に行く機会をつくる

④方法

目的を達成するための行動を示す

ポスターやイベントで
ランドセル寄贈活動を知らせる
ランドセル回収の体制をつくる

④スケジュール

やることを時間の順に並べる

- 1 現状を調べ、活動始める
- 2 活動をみんなに知らせる
- 3 ランドセル回収イベントを行う

⑤成果の見込み

期待される効果を書く

子どもたちの学校に通うきっかけが増える
国際理解教育を進めることができる

探究学習の進め方

Step ③

整理・分析で学んだこと

- 1 集めた情報を「仕分け」する【整理】
- 2 分けた情報を「つなげる・比較する」【分析】
- 3 はじめに決めた目的・目標を達成するために具体的に「何が必要か」を探そう
- 4 課題に向けた取り組みをまとめよう

Check!

- 集めた情報の共通点や違いに注目し、課題との関係を考えながら整理しよう！
- 目的・目標をもとに、具体的な行動を考えていこう！



探究学習の進め方

Step ④ まとめ・表現

どうやってまとめて
伝えていくの？



まとめ・表現は、学びを伝えるステップ。
分かったことや自分の考えを表現してみよう！

どうやってまとめて

1


「何を」伝えるか 内容を整理しよう

自分たちが本当に伝えたいことを整理し、考えを明確にしよう。
多くの情報の中から重要な点を絞ることで、相手に分かりやすく、
説得力のある説明につながるよ！

『アフガニスタンの教育環境』
を伝える！

ランドセル回収活動が
あることを知らせる！

『役目を終えたランドセルが
遠い国で役に立つ』ことを伝える！


やってみよう  **いちばん伝えたいことを決めよう！**

『 』

2

「誰に、どうやって」伝えるか 手段を選択しよう

相手に合った伝え方を選ぶことで、より伝わりやすくなるよ！

やってみよう  **伝える相手と手段を考えよう！**

① 伝えたい相手：


② 伝え方（○で囲む）：チラシ／ポスター／クイズ／発表
その他（ ）

伝えていけばいいの？

①身近な人や地域の 多くの人に伝えたいとき

チラシやポスター

チラシやポスターは、多くの人の目にとまりやすく、
広く知らせることができる！


 チラシ：手に取りやすい
持って帰ることができる
ポスター：チラシよりも大きく
多くの人の目に触れる



②地域の人に 直接説明して伝えたいとき

地域イベントに参加

直接話すことで、
より理解してもらいやすくなる！


 クイズも用意すると子どもたちも
関心をもってくれるかも！



③学校の授業などで 伝えたいとき

プレゼンで伝える

プレゼンは、写真や言葉を使って
分かりやすく説明することができる！

 一度に多くの人へ自分の考えを
伝えることができる



探究学習のその先へ

情報を広める

地域のイベント



地域のイベントに参加し、ランドセル寄贈活動がどのような活動か、なぜ行っているのかを伝える

講座



小・中・高校生に発表や授業を通して、ランドセル寄贈活動の目的や意義、世界の子どもたちの現状について伝える

実際に行動してみよう！

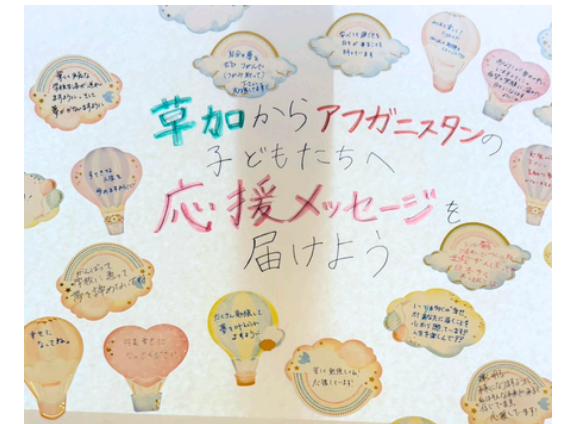
ランドセル回収活動を行う

ランドセル回収イベント



地域の方々と協力して活動を進める中で、アフガニスタンの子どもたちへ向けた温かい応援メッセージをいただきました⇒

私たちランドセラーの活動では**合計252個のランドセル**を集め、アフガニスタンの子どもたちに届けられます。



ランドセルを寄贈する

自分のランドセルを寄贈することも課題改善に向けた行動の一つ！



SCAN

寄贈方法は
ジョイセフのHPをご覧ください

SNS



思い出のランドセルギフト
byジョイセフ
Instagram



SNSを通じて寄贈したランドセルがどのように現地に運ばれるか発信する

獨協大学経済学部
高安健一ゼミナール

Facebook



活動の様子やイベント告知を発信する

ホームページ



高安ゼミのHP



ホームページで、活動の進捗状況や今後の予定について告知し、分かりやすく伝える

探究学習の進め方

Step ③

まとめ・表現で学んだこと

- 1 「何を」伝えるか 内容を整理しよう
- 2 「誰に、どうやって」伝えるか 手段を選択しよう

探究学習のその先へ 実際に行動してみよう！

Check!

- 伝える相手を明確にすると、伝え方を決めやすくなる！
- SNSの発信など自分でもできる方法で、情報を伝えていこう！



探究学習をやってみよう！
中学生用ワークページ

実際に探求学習に取り組んで、
行動につなげてみよう！



みんなでアイデアを出し合い、
自分たちにできることを探してみよう！



探究学習をやってみよう！
中学生用ワークシート

Step① 課題設定

自分たちで国を設定し、その国の問題を調べてできることを考え、グループで話し合いながらワークを進めて行動につなげていこう。

国名： _____

参考：P11

その国が抱える問題を書き出そう

課題を絞り、その解決方法や自分たちにできることを考えよう

参考：P12の4

課題 _____

解決策 _____

自分たちができること _____

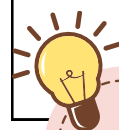
グループの目的と目標を定めよう

参考：P11の5

私たちの**目的**
(何のためにやるの?)

私たちの**目標**
(どこまでやるの?)

<p>私たちの目的 (何のためにやるの?)</p>	<p>私たちの目標 (どこまでやるの?)</p>
--------------------------------------	-------------------------------------



目的と目標の違いを
確認しよう！



探究学習をやってみよう！
中学生用ワークシート

Step② 情報収集

参考：P18

調べたいことをたくさん書き出そう
(例：国の特徴は？、支援方法は？)

調べてわかったことを書こう

どんな手段で調べた？
インターネットならどのサイトで調べたかも書こう

検索のキーワードをメモしよう





探究学習をやってみよう！
中学生用ワークシート

Step③ 整理分析

参考：P21の1



付箋とペンを用意しよう！

集めた情報を付箋で
グループ分けして、まとめよう

①グループの名前 ②グループ分けした内容 ③グループの特徴

分けた情報を「比較する」【分析①】

参考：P22の2



比較するときは
表を作成して比較しよう！

分けた情報を「つなげる」【分析②】

① 原因と結果を考えよう 「〇〇（原因）だから、△△（結果）になる」

② 解決策と効果を考えよう 「〇〇（解決策）をすると、△△（効果）が生まれる」



探究学習をやってみよう！
中学生用ワークシート

Step③ 整理分析

目的・目標を達成するために
自分たちに必要な行動はなにか？

参考：P23の3

自分達ができること

自分達ができること	
<p>私たちの目的 (何のためにやるの?)</p>	<p>私たちの目標 (どこまでやるの?)</p>

目的・目標達成に必要なこと

これまでに調べ、考えてきたことを整理し、
課題解決までの流れをまとめよう

参考：P24の4

①背景

どんな問題や状況があるのか

②課題

背景の中から課題を見つける

③目的

課題解決をすることで
実現したい状態

④方法

目的を達成するための行動を示す

⑤スケジュール

やることを時間の順に並べる

⑥成果の見込み

期待される効果を書く



探究学習をやってみよう！
中学生用ワークシート

Step④ まとめ・表現

この活動で伝えたいことはなにか

参考：P27の1

「誰に、どうやって」伝えるか 手段を選択しよう

参考：P27の2

誰に _____

どうやって _____

チラシ/ポスター/クイズ/発表
その他 ()

アイデアをメモしながら、作ってみよう

探究学習をやってみよう！
中学生用ワークシート

探究の振り返り

探究して分かったことや考えたこと

今後どんな探究をしていきたいか

探究学習を終えて

みなさん、探究学習を通してどのような発見がありましたか？
この学習に取り組む中で、みなさんは以下の「4つの力」を磨くことができます。



情報を集めたり、
整理・分析したりする力



みんなで話し合い、
課題を見つけて解決策を考える力



自分の考えや意見を
相手にわかりやすく伝える力



仲間と協力して目標を達成する力

これらの力は、調べるだけで終わらず、考え、行動する力につながります。
日常の何気ない疑問を解決する時や、将来の夢に向かって進む道の中でも、
この経験はみなさんを支える大きな力になるはずです。
今回の経験を自信に変えて、これからも新しい世界へ踏み出していきましょう！



おわりに

『探究学習で世界の課題を考えよう！～アフガニスタンの子どもたちへランドセルを寄贈する活動から学ぶ～』を最後まで読んでいただき、ありがとうございました！

探究学習は、一つの問いから始まります。調べ、考え、仲間と話し合い、そして小さな行動に移す。その積み重ねが、社会とつながる学びを生み出します。

今回のテーマである「アフガニスタン」について知ることは、日本とは異なる文化や生活、価値観に目を向けることでもあります。

国際理解とは、「遠い国の出来事」として考えるのではなく、「同じ世界で生きる仲間」として相手を知ろうとする姿勢です。違いに気づき、なぜそうなのかを考えることが、理解への第一歩になります。

探究学習で大切なのは、自分の疑問を大切にし、その問いから目をそらさずに一步を踏み出すことです。

知ること、誰かと話すこと、調べてみること。その一つひとつが、世界を広げる立派な行動です。

この冊子が、みなさんの新しい探究のきっかけとなり、それぞれの場所で新しい「問い」と「行動」が生まれることを心から願っています。

獨協大学 経済学部
高安健一ゼミナール
ランドセララーチーム

謝辞

冊子を制作するにあたり、多くの方にご協力・ご支援をいただきました。すべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

【思い出のランドセルギフト主催団体】

国際協力NGOジョイセフ 佐藤文枝様
栗林桃乃様

獨協大学経済学部 高安健一 教授

草加市役所 総合政策課の皆様

そうかキャンププロジェクトの皆様

草加市立松原児童青少年交流センターミラトンの皆様

参考文献・オンライン資料

内堀タケシ (2013) 『ランドセルは海をこえて』 ポプラ社
内藤正典 (2022) 『教えて！タリバンのこと 世界の見かたが変わる緊急講座』 ミシマ社
ジャネット・ウィンター・福本友美子 (2022) 『アフガニスタンのひみつの学校 ほんとうにあったおはなし』 さ・え・ら書房
松竹伸幸 (2023) 『狙われた国と地域⑧ アフガニスタン』 あすなる書房
ランドセル130年史編纂委員会 (2017) 『ランドセル130年史: ランドセル130年の軌跡、そして…』 日本靴協会ランドセル工業会
和田知代 (2007) 『国際協力NGOが所有するリソースを有効利用した国際理解教育の推進』 特定非営利活動法人HANDS

UNICEF (2024) 『The State of the World's Children 2024: Statistical Compendium (世界子供白書2024 統計表)』
<https://www.unicef.org/reports/state-of-worlds-children-2024>
草加市役所 (2024) 『草加市統計書 (令和6年版) 社会編 1.1 人口』
<https://www.city.soka.saitama.jp/>
株式会社土屋鞆製造所(2020) 『ランドセル工房のどこでも社会科見学』
<https://tsuchiya-randoseru.jp/pages/kengaku>

【書名】 探究学習で世界の課題を考えよう！
～アフガニスタンの子どもたちへランドセルを寄贈する活動から学ぶ～

【著者】 獨協大学経済学部 高安健一ゼミナール ランドセララーチーム
大塚七海 佐々木瑛美 杉浦啓太 高橋瑠菜

【作成日】 2026年3月15日

【E-mail】 randseru2025@gmail.com

【住所】 獨協大学 埼玉県草加市学園町1-1

※無断転載禁止